

慣用句とことわざ

① 次の慣用句を使った文の( )に合う言葉を、  
から選んでかきましょう。同じ言葉を何度使っても  
かまいません。各4点(48)

① テストの時間に大きな音をたてて、みんなに  
白い(目)で見られてしまった。

② 母に何度も注意されて、(耳)にたこができた。

③ 約束をやぶってしまい、友達に合わせる(顔)  
がない。

④ あせっても仕方がないから、もう一度(頭)を  
冷やして考えよう。

⑤ 幼い妹は、ちょっとしたことですぐに(へそ)を  
曲げてしまう。

⑥ 今日のテストは、問題が難しすぎて(手)も  
(足)も出なかった。

⑦ 小学校から図書館は(目)と(鼻)の  
先だ。

⑧ かみなりが近くに落ちて、(こし)をぬかすほど  
おどろいた。

⑨ 遠足で山登りをして、(足)が棒になった。

⑩ 先生がいくら(口)を酸っぱくして注意しても、  
ろう下を走る人がいる。

頭	顔	目	鼻	口	耳	手	指
足	こし	へそ	うで	あご	歯	骨	

② 次の慣用句の意味として正しい方に○をつけましょう。  
各6点(12)

① 飼いだに手をかまれる

( ) ( ) とんでもない失敗をする。

(○) ( ) 世話をした人に裏切られる。

② 万事休す

( ) (○) もう何もしようがなく終わりである。

( ) ( ) 何もかもが寝静まっている。

③ 次の文の意味を表すことわざをア〜コから選んで( )に  
記号をかきましょう。各5点(40)

① よけいなことは口に出して言わない方がよい。(ク)

② 苦しいことが過ぎると、苦しさや恩をすぐに忘れてしまう。(カ)

③ 細かい部分ばかりに注目すると、全体が見えなくなる。(ケ)

④ 同類のすることは、同じ仲間にはすぐにわかるものだ。(エ)

⑤ いくら意見や忠告をしても、まったく耳を貸さず効果がない。(ウ)

⑥ 思いがけない意外なことが起こる。冗談が現実になる。(イ)

⑦ どんなに優しい人でも、何度もひどいことをされれば怒る。(ア)

⑧ いつもはこわくて冷たい人でも、優しい感情を表すことがある。(オ)

ア【仏の顔も三度まで】 イ【ひょうたんから駒が出る】

ウ【馬の耳に念仏】 エ【蛇の道は蛇】 オ【鬼の目にも涙】

カ【のど元過ぎれば熱さ忘れる】 キ【目は口ほどに物を言う】

ク【言わぬが花】 ケ【木を見て森を見ず】 コ【腐っても鯛】

